

平成29年12月26日

株式会社プリンシプル自動車

専務取締役 木野 隆之

平成29年度内部監査実施内容

平成29年12月19日、平成29年度内部監査を下記内容にて実施致しました。
監査の結果、次年度に掲げる目標が判明致しましたので、内容を反映したものを設定願います。

1. 安全統括管理者への内部監査

・安全重点目標の達成状況及び問題点

【実績】

平成29年度 安全目標に対する達成状況

人身事故0を維持する ⇒ 人身事故1件

年間事故件数25件までとする ⇒ 29件（4件オーバー）

【改善点】

28年度有責事故件数44件からは減少したものの、29年度有責事故の内車両感覚不足によるものが29件中、26件と大半を占めている。

軽度事故が重大事故に繋がる危険性もあり、このような事故を無くすことが重要。

また、事故多発者の指導、教育方法を確立することを。

・事故、苦情等の発生状況

【実績】

お客様クレーム8件 ⇒ 14件（6件オーバー）

【改善点】

大型観光バス運転手と言うプロ意識の軽佻と思われる、互譲の精神を忘れず、クレーム防止だけでなく、賞賛を得る教育及びシステムが必要。

2. 運行管理者への内部監査

- ・点呼実施状況

実施率は 100%

運行管理規定に基づき行われており良好

- ・運行指示書、運転日報の保存状況

指示書、日報共全運行 1 年間分倉庫内に保存あり

- ・乗務員に対する指導監督

問題が起きた場合は乗務員データに記載

その後小野部長が確認し各乗務員に指導

また、出勤時に健康状態も把握する等、乗務員とのコミュニケーションも良好

- ・アルコールチェック実施状況

出勤時間 10 分前から検知している

携帯アルコール検知機の故障等で測定不能の場合はその旨を点呼簿に記載されている。

ただし、いつ故障が発覚したのかがわからないため今後表にして保存することが望ましい。

- ・休息、休憩の的確な確保

運行前に休息場所、休憩（長時間運転回避）が確実に確保出来ているか確認をしていた。

また、事前に 1 マン運行が難しい場合は 2 マンに変更する等、行程の見直しをして運行指示書を作成。

CT 等の募集物は予約段階で営業担当が確認、1 マン運行が厳しいものはコース差し替えをしている

- ・ハンドル時間、拘束時間把握状況

帰庫点呼をしたものが全て確認

違反があったものは表にして保存、営業担当者に報告

ハンドル時間に関しては 9 時間超えから保存対象としている